

調査概要

○調査地域：紀の川市全域

○調査対象者：紀の川市内在住の「就学前児童」の保護者

紀の川市内在住の「小学生」の保護者

○抽出方法：住民基本台帳より、就学前児童（0歳～就学前）1,000人、小学生児童（小学1～6年生）1,000人、合計2,000人を無作為抽出

年齢や地域の偏り、保護者の重複が無いよう配慮

○調査方法：児童宛、郵送配布・郵送回収

○前回調査（平成26年2月実施）

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童（0～5歳）	1,000	415	41.5%
就学児童（6～9歳）	500	217	43.4%
合計	1500	632	42.1%

○前回との変更点

- ・対象を、前は9歳（小学3・4年生）までの児童の保護者であったが、小学6年生児童の保護者までを対象とした。
- ・調査票を「就学前児童」の保護者用と「小学生」の保護者用に分ける。
- ・今年度県が実施した「子供の生活実態調査」との比較ができるよう、同じ質問をいくつか追加。
- ・今年度から開始した県の「在宅育児支援給付金事業」についての質問を追加。
- ・学童保育に対する希望を問う質問を追加。